

## 1 論文構成

はじめに

### 第1章 本論の主張と展開

1-1 本論の主張

1-2 本論の展開

### 第2章 中学校社会科の目標と実態からの見解

2-1 中学校社会科の目標

2-2 中学校社会科の実態把握

### 第3章 中学校社会科のプロの授業づくり

3-1 中学校社会科における「アクティブラーニング」とは

3-2 生徒の探求心をくすぐる発問のポイント

3-3 良い授業をつくるための「ネタ」の発掘法

3-4 中学校社会科における理想の授業

3-5 中学校社会科授業のプロの実践例—3つの学習視点から

### 第4章 社会問題に興味関心を持ち、課題解決する生徒を育てる中学校社会科授業の提案

4-1 私なりの中学校社会科に対する考え

4-2 社会問題に興味関心を持ち、課題解決する生徒を育てる中学校社会科授業の提案

### 第5章 これまでの要約と今後の課題

5-1 本研究のまとめ

5-2 今後の課題

引用・参考文献一覧

おわりに

## 2 研究動機

私は社会科が大好きである。そのため、より専門性が高い中学校の社会科の教員を目指している。また、大好きだからこそ、歴史や地理、公民の知識は人一倍に持っている自信があるし、様々な政治や社会問題にも関心がある。「社会科は人生を豊かにしてくれる面白さがある教科である」ということを、何とかして生徒たちに伝えたいとの思いから、教育実習では知識を伝えたいという自己の思いが先行してしまい、授業というよりは講義の時間になってしまった。それは自己満足の授業であり、新学習指導要領が求める「主体的・対話的で深い学び」とは到底言えないものであり、社会科が嫌いな生徒は退屈な時間を過ごしてしまっていた。生徒全員が授業に参加して社会科を好きになり、今後社会に出たときに知っておかねばならない社会問題に興味関心を抱き、答えのない社会における最適解を導くことのできる力を身に付けるためには、一体どのような授業が有効であるのかを研究する必要があると感じ、本研究に至った。

## 3 各論

### 第1章 本論の主張と展開

本論では、「社会問題に興味関心を持ち、課題解決する生徒」を中学校社会科授業を通して育てるために、生徒の「思考」を最重要事項として、様々な授業づくりの技術や授業法を模索していき、「知識理解に特化した授業」、「思考に特化した授業」、「議論に特化した授業」の3種類の授業を提案している。

### 第2章 中学校社会科の目標と実態からの見解

この章では、様々な資料やデータを基に、中学校社会科の目標や中学校社会科授業の実態から見解と考察を述べる。新学習指導要領に明記されている「アクティブラーニング」の実践に向けて、これまで行われてきた社会科授業がどのようなものであったのかを明らかにし、それが、今日の社会問題に無関心で思考しない人々をつくりあげたのではないかという私の考えが、この章で確固たるものになっている。

### 第3章 中学校社会科のプロの授業づくり

この章では、中学校社会科の授業づくりについて、そもそも中学校社会科における「アクティブラーニング」とは何をすればよいのか、課題解決力を養うための、生徒の探求心をくすぐる発問はどのようなものが良いのか、良い授業をつくるための「ネタ」はどのように探せばよいのか、生徒に「主体的・対話的で深い学び」のある授業を提供するために、実際にどのような授業を行うと良いのかを、中学校社会科の授業実践をたくさんされている、内藤圭太先生、河原和之先生、青柳慎一先生の著書に焦点を当てている。

#### 第4章 社会問題に興味関心を持ち、課題解決する生徒を育てる中学校社会科授業の提案

この章では、第3章の内容や新たな参考文献を基に、社会問題に興味関心を持ち、課題解決する生徒を育てることのできる授業を、「知識理解に特化した授業」、「思考に特化した授業」、「議論に特化した授業」の3種類に分けて提案している。

#### 第5章 これまでの要約と今後の課題

この章では、第4章までの内容をまとめ、本論を通して感じた自己への今後の課題を述べている。

### 4 結論

私は、この研究を通して「アクティブラーニング」のある中学校社会科授業について学ぶことができた。それに伴って、生徒たちが社会科を暗記科目と捉えないようにするための授業技術も学ぶことができた。研究を進めていくことで、授業づくりの難しさや教材研究の大切さを改めて感じたが、なによりも授業づくりの楽しさや社会科の面白さを改めて感じることができたため、研究して本当に良かったと感じている。

本研究で満足することなく、教師自身が常に学び続ける姿勢を忘れずに、知識や授業論のアップデートを行っていけるように努めていく。

### 引用・参考文献一覧

- ・『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』文部科学省
- ・『単元を貫く「発問」でつくる中学校社会科授業モデル30』（内藤圭太 著）明治図書
- ・『スペシャリスト直伝！中学校社会科授業成功の極意』（河原和之 著）明治図書
- ・『ロールプレイングからジグソー法まで 中学校社会科 授業を変える学習活動45の工夫』（青柳慎一 著）明治図書
- ・『単元を貫く学習課題でつくる！中学校地理の授業展開&ワークシート』（川端裕介 著）明治図書
- ・『単元を貫く学習課題でつくる！中学校歴史の授業展開&ワークシート』（川端裕介 著）明治図書
- ・『新編 新しい社会 地理』東京書籍
- ・『中学校社会科地図』帝国書院
- ・『学研 ニューコース中学地理』学研出版
- ・ <http://hpmmuseum.jp/modules/exhibition/index.php?action>
- ・ <https://www.kanaloco.jp/news/social/entry-50551.html>

目標：律令国家の成立に最も影響した出来事について考えよう。

1 豪族と貴族の違いを調べよう。

--

2 以下の年表を埋めましょう。

年	出来事
645	(① )や(② )が蘇我氏を倒し、都を移し、国の政治の方法を大きく改革した(③ )が起こる。
663	(④ )で唐・新羅連合軍に敗れる。
668	(①)が(⑤ )となる。
672	皇位を争って、(⑥ )が起こる。
673	(⑥)に勝利した大海人皇子という人が(⑦ )となる。
701	(⑧ )が定められる。

3 律令国家の成立に最も影響を与えたと思うもののランキングを3位まで作ろう。

語句	理由
1位	
2位	
3位	

4 仲間の意見を聞いて

--

5 まとめ

--